

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 あさひ会	代表者	森田 孝文	法人・事業所の特徴	法人の理念である「あなたらしさ100%」を踏まえ「あなたと共に」を合言葉として、「あたり前の暮らし」、「生活の継続性」、「ご自身の持っている力を発揮できる機会作り」、「落ち着いた雰囲気作り」にこだわり、これまで培ってきた生活や暮らし、その方のこれまでの暮らしに根付いていることを大切に、支援を行っています。具体的には、身近な家庭で行っていることを施設において取り入れ、ご利用者様と共に行っています（食事のしたく、掃除、季節に応じた行事・外出等）。また、それ以外にも個別支援を重視し、お一人おひとりの希望・要望等を支援に反映するよう、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能はまひるがお	管理者	宮元 直樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	1人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			全スタッフで取り組んだが、項目をチェックする判断基準が曖昧でチェックの仕方にばらつきがみられる。判断基準をスタッフ全体ですり合わせ、選択すべきである。	→今後は自己評価を実施していく中でスタッフ全体で判断基準の統一を図っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			近隣住民の方が事業所に入り易いような工夫・環境整備に努めた方が良い。(定期的に近隣の方などに呼びかけ、カフェの実施、花壇の設置やテラスなどに入り易いように看板を設置する等)	→スタッフ全体で近隣の方が立ち寄っていただけるような環境作りについて協議し、繋げていく。
C. 事業所と地域のかかわり			地域住民の方との日常的な交流や接することがあまりない。又、近隣町内においてもまだ十分に事業所の周知がされていない。事業所の存在を知ってもらえるよう、近隣町内の老人会や健脚体操の参加者などへの講話・介護相談などの活動を試みてもらいたい。	→高齢者総合相談センターとの協力・連携を図る中で、近隣の地域住民の方に対しての交流や関わり方を探り、具体的な活動・取り組みに繋げていく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み				
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<p>会議の参加者を町内の方だけに 限定せずに近隣の町内・民生委 員などの関係者にも参加を呼び かけ、広く事業所を知ってもら った方が良い。</p>	<p>→今回の意見を参考に来年度の 運営推進会議参加メンバーの拡 大について検討していく。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策			<p>事業所の避難訓練や行方不明対 応訓練などの報告は推進会議に て行っているも、地域との防災 に対しての連携・協力は行えて いないのではないか</p>	<p>→町内自体の防災体制が十分に 整備されていないこともあり、 今後町内の防災体制の動向を確 認しながら事業所として連携・ 協力できる事を検討していく。 併せて事業所として地域にどの ような協力・要請が必要なのか も検討していく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 5 月 26 日 (14:00 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー (8名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	5			9 (10)
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	2	5	2		9 (10)
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	2	6			8 (10)
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	1	6	1	1	9 (10)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者情報に関しては、ケアマネが利用開始前に利用者や家族などから得られた情報をスタッフ全体に周知している。又、利用当初の目標は、書面でのケアマネからの情報以外に申し送り時間に利用当初の留意すべき点や配慮すべき点を全体に伝え、出来るだけ利用開始時に強いストレスがかからないよう配慮している。(生活歴やこれまでの習慣などを踏まえた声掛けや話しかけを心掛けている)

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現場スタッフとご家族様との情報交換や連絡のやり取りは、主に連絡帳を用いて行っていることが多く、そのため詳細なやり取りなどは、ケアマネ以外はあまり行えていない。又、利用初期の目標設定は、ケアマネが中心に立てているが、利用開始後は主に現場スタッフが深く携わることを考えると、ケアマネだけではなく、現場スタッフもケアプランやサービス用途を決める際、携わっていく必要があると考える。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
新規利用者の利用開始に当たって、ケアマネだけでなく、現場スタッフも情報収集、サービス用途の頻度やプラン作成に携わっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 5 月 26 日 (14:00 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー (8名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	6	2	10 (10)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	7		10 (10)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	6	2	10 (10)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	5	1	10 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人のゴール (したいこと) が明確には分かっていないが、計画書を立てたものに対しては定期的にモニタリングを行い、スタッフ間で話し合いや目指すものを確認し合っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>なかなか利用者から希望・要望をうまく引き出すことができていない。又、目標が曖昧なため、ケアプランや介護計画書に沿った取り組みやケアの実践に繋がっていない。同時に本人の意向よりも家族の意向が優先されがちであり、本人の思いや意向が後回しされていることがある。本人と家族の意向をどう折り合いをつけて支援していくべきなのか、具体的な方策や方法が見つかっていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>本人の「～したい」との意向・要望をケアプランや介護計画書に具体的なニーズやしたいことを取り入れ、全体で意向を共有していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 5 月 26 日 (14:00 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー (8 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?			10		10 (10)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8	1		10 (10)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	5	1	10 (10)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6	2	1	10 (10)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		8	2		10 (10)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の様子や変化に関してはケース記録に記入したり、申し送り時に全体に報告し、情報共有を図っている。アセスメント時、可能な範囲で以前の暮らしや生活歴をお聴きするようにしている。又、通い時において出来るだけこれまでの家庭で培ってきたことを取り入れるよう心掛けている。時間や場所などの見当識障害に対し、知り得た生活歴などを参考にその方の話の意味を理解しようと取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

以前の暮らし方が 10 個以上把握はできていない。これまでの生活歴など家族などから十分に聞き取れていない。又、アセスメント表が十分に活用できていない。本来は、アセスメント表を用いてその方の状態を理解し、その状態に合わせたケアを提供し、必要以上のケアや支援を控えることが大切であるが、その点十分に生かされていない。又、入浴や排せつなどに対し、拒否されることがよくあるが、「なぜ」嫌がるのか、丁寧に原因を解明し、アプローチ・対応していくことが不十分である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・アセスメント表をスタッフ間で十分に活用していく事を心掛け、統一したケア・支援の提供ができるよう努めていく。
- ・本人の行動や言動に対しての意味や目的を丁寧に探り、本人の心情や気持ちを汲み取ったケア・支援の提供に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 14 日 (17:50 ~19:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	6		10 (10)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	1	6	2	10 (10)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	4		10 (10)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1		7	2	10 (10)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①契約時等に利用者のこれまでの生活歴や地域との繋がりを家族に確認している。
 ②利用者の友人が経営している床屋へ定期的にお連れしたり、昔からの馴染みの神社へ初詣にお連れしたりしている。
 ③電話等で事業所に来ていない時に所在・安否確認のほかにもどのように過ごされているのかを確認している。
 ④件数は少ないが、家族以外の利用者にかかわっている（民生委員等）関係者と連絡を取る事もある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

事業所を中心とした地域との繋がりは形成されつつあるが、利用者自身の地元・地域との繋がりは殆どない方が多い。そのことも影響し、利用者個々のこれまでの生活スタイルや人間関係、地域資源等が十分に把握できていない。又、各利用者の地域での社会資源・インフォーマルなサービスがどこに存在しているのかを把握できていない。なによりも利用者からの聴き取りが十分に行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

利用者の望む生活とは何かを個々に十分話を聴き取っていく。又、聴き取った内容等をエコマップに取り入れ、スタッフ間で情報を共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 14 日 (17 : 50 ~19 : 15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー (6名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	3	1	10 (10)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	2		10 (10)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	2		10 (10)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	3		10 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族の事情で泊まりに切り替えたり、通い時間帯を延長するなど臨機応変の対応を行っている。日々の変化や気づきに関しては、ケース記録や申し送りノートなどに残し、スタッフ間で情報共有している。十分とは言えないが、利用者の個々のニーズや状態を見極めながら支援内容を適宜変更している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者のニーズや希望よりも家族の要望や悩みが先行した課題設定になり易い。当事者のニーズが具体的に捉えきれておらず、曖昧な所がある。利用者自身の具体的なニーズや要望を抽出しながら個別支援を明確化していく事が不足。又、良い点にも着目していく事が不足している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>多様で柔軟な支援をしていく中で具体的な考えや課題を導き出し、スタッフ全体で共通認識を持つことが大切。又、良い変化に着目し、今までできなかったことではなく、できるようになったことなどを記録に残し、スタッフ間で情報を共有していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 28 日 (14:20 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー (5 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	1	4		7 (10)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	3		2	9 (10)
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	4	3		10 (10)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	5	2		10 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>学童クラブや保育園との交流会は定期的に設けられている。市や高齢者総合相談センターでの定期的な会議には出席し、地域や関係機関との情報共有に努めている。地域の美化清掃への参加や町内バーベキュー大会・ラジオ体操には施設の場所を提供し、地域の社会資源の一つとして活用していただき交流に努めている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の高齢者や小学生などが訪れたり、交流を持つことが殆どない。近隣の町内の活動なども十分に把握できておらず、町内以外での積極的な交流や触れ合いは行えていない。市や高齢者総合相談センターでの会議内容等が一部のスタッフのみで情報が留まっていることがあり、どのような取り組みや活動が行われているのか、スタッフによっては把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の町内の活動・行事などを把握し、参加できるようなことに積極的に参加していく。 ・近隣のいきいきサロンや健脚体操などにも事前に許可を受けた中で参加していく。 ・学校行事の見学やキャラバンメイトなどの講話等を通して学校や地域団体との交流や繋がりを設けていく。 ・ボランティアなどの参加を通して事業所の理解を得られるよう周知を行っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 7 月 28 日 (14:20 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー (5 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	3	4	2	10 (10)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	1		10 (10)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	3	1	10 (10)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		5	4		9 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>運営懇談会においての意見や感想など議事録で全スタッフに伝えるとともに、特別に周知すべきことがある場合はミーティング時に管理者より全スタッフに伝達している。又、法人の基本方針や理念、事業所の大切にしたいことを職員間で再学習し、現状がそれらに適しているかを確認している。又、家族などからの苦情については、情報を管理者やごく一部のスタッフだけで留めずに、結論等が出た段階で全スタッフに伝達し、今後の運営や対応に反映するよう取り組んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・法人の理念や事業所として大切にしていることがスタッフ全体で十分に理解できていない。又、運営の在り方が十分に深掘りされておらず、議論に至らない。 ・スタッフ間においても申し送りが不足しており、十分に報告・連絡・相談の徹底ができていない。 ・苦情や今後の施設運営に関しての具体的な話し合いがスタッフ全体では、あまり行えていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>申し送りが不十分のため日々の業務などの運営を適切に行っていく。(リーダー業務の徹底【スタッフから伝達事項を必ずリーダーに伝える。又、リーダーは当日のスタッフ全員に伝達事項を必ず申し送る】、全スタッフで申し送り事項を十分に理解・周知する。不明なことがないように、必ず確認し合う)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 11 日 (17:00～ 19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (7名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	6			10 (10)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	1	1	10 (10)
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	1	2	10 (10)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	1		4 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・年間の研修スケジュールに沿って、職場外・内研修を実施している。職場外研修に参加したら研修報告書を作成し上司に提出している。内容に応じて研修参加者が、ミーティング時に研修内容の説明、感想等を全体に報告している。 ・ケアマネが定期的に高齢者総合相談センターで主催している地域ケア会議に参加し、内容に応じて現場スタッフに情報を伝達している。 ・リスクマネジメントに関しては、事業所としてのシステムは構築されており、事故発生やひやりと感じた際には所定の書面を用いて自己分析・改善策等を検討し、書面にて記録を残している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全体的にスキルアップに対しての意欲・意識が希薄で研修の参加状況は比較的受け身で受講している事が多い。 ・事故報告書やひやり報告書を作成しているが、その後の周知や見直し、事業所全体的に課題分析・事業所としての課題の抽出などが行われていない。そのため報告書が十分に日頃の現場に活かされていない。又、事故報告書における改善策が反省文になっている所がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・現在も職場外研修にて学んだことをミーティングで報告されているものの、より詳細な説明・報告を行い、スタッフ全体に周知させていく。又、職場外研修資料なども保管だけでなく、こまめに職員間で目にするよう意識していく。 ・事故報告書を作成時に、事故発見者が主に記載するのではなく、当日事故に関わった職員にも事故の原因等を確認し、客観的な視点を大切にしながら事故報告書を作成していく。又、記載だけで留まらずに、こまめに見直しを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 8 月 11 日 (17:00～ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー (7名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	5			10 (10)
②	虐待は行われていない	7	2			9 (10)
③	プライバシーが守られている	4	2	3		9 (10)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1		2		3 (10)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	4	2		10 (10)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日中は玄関の施錠は行っておらず、いつでも外に出られるような状態。又、外に出る方に対しては、定期的にご本人の状態を確認し、見守っている。 ・排せつなど、周囲の状況に配慮しながら人格・尊厳を考慮した声掛け・働きかけを行い、トイレにお誘いしている。 ・入浴の使用に関しては個別対応を基本とし、羞恥心や自尊心に配慮し、入浴に入って頂いている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況についての話し合いや申し送りが他の利用者聞こえないよう配慮しているが、場合によっては内容等が他者の耳に入ってしまう時がある。 ・ケース記録や記録物が周囲のものが目に付く場所に置かれている事がある。 ・利用者のプライバシーの保護に対する意識が希薄なことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のプライバシーや人権に対して意識が希薄であり、慣性やマンネリ化の中で意識が薄れると考える。→職員間で注意しあえる環境作りを構築していく。又、(管理者・先輩スタッフからの) O J T の実施。 	